

自己認知力を養う鍛錬塾

・内観エッセイ講座(必須)(第 1quarter～第 4 quater)

課題にもとづいて自由に文章を作成し、期日までに提出する。提出されたエッセイを多面的に評価し、その後の課題と成長のための方策とを示唆し、推敲を重ねる。

自己認知・自己の客観化・構想力・表現力・日本語能力・創造性等々を段階的に強化しつつ、何よりも自己認知を深めるとともに、自己革新の契機を自主的に醸成し、精神的な成長を促す。もっとも重視するのは他者性であり、集団凝集性であるが、それらを的確に、かつ効果的に伝達できる魅力ある文章力を育む。

文章は、その人がもつ多様な能力の鏡であり、書かれた文章を読めばその人の知的水準を容易に判断することができる。また、サンプルとして提示された例文を参考にすることで、他者の共感性を訴求できる文章とはどういうものか、そして文章の背後にある人物の人間としての真摯さ等を学び、自己目標を鮮明化させる。正しい日本語表記力、魅力ある文章叙述力のみならず、自らを客観性・相対化するチカラ、感受性の先鋭化、認知力、他者性等を伸張させることで、魅力ある人格形成をも期待する講座。

期間	1 年ないし 2 年間
密度	1 週に 1 回程度
場所	メールによる作文提出と評価・添削・模範文送信
義務	期日までに提出、数度の推敲を重ねる
評価	個別的に時間を掛けて評価し、改善点、留意点、目指すべき方向性等について詳細なアドバイスを提供する。